

(令和元年5月試験研究業務月報)

試験研究課題：根系操作を利用したマツタケ・シロ育成技術の開発
(高級菌根性きのこ栽培技術の開発委託事業)

研究

アカマツの根へのマツタケ菌糸接種試験の実施

マツタケは、マツタケ菌がアカマツの根に感染し、シロ^{*}を形成することで発生します。

当センターでは、アカマツ周辺の地表をシートで被覆することで、アカマツの根を地表に誘導し、これにマツタケの菌糸を接種、感染させる試験を行っています。

しかし、人工増殖したマツタケの菌糸は、他の微生物からの加害により、死滅しやすいので、アカマツに感染するまでの間、微生物の繁殖を抑制する必要があります。

そこで、マツタケの菌糸とその埋め込みに使う土に、微生物の繁殖を抑制する薬剤を添加し、微生物の害を防除しつつ、マツタケ菌糸の成長に影響がない、薬剤の種類と濃度の組み合わせを検証中です。

※シロ…マツタケ菌が感染したマツの根とマツタケ菌の塊。マツタケはシロから生える。



左の図：マツタケ菌糸の接種

薬剤に浸漬したマツタケ菌糸を薬剤を添加した土で埋め込む。

薬剤の種類や濃度の組み合わせを変えて効果を検証中。

右の図：1箇月後の状況

左側：濃度の高い薬剤を添加した土はカビの繁殖は抑制。

右側：濃度の低い薬剤を添加した土にはアオカビが繁殖。



農林センター（森林技術センター）